

# 令和3年2月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和3年1月28日（木） 午前8時35分から午前11時2分まで
- ◇会 場 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、長野市保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

## ◇会議内容

### <市長あいさつ>

- ・新年度予算編成の市長査定については、25日に終了した。財政課はもとより、各部局においては、限られた枠の中での予算要求となり、大変苦勞したと思う。新年度予算は、国の第三次補正予算を活用し、本市3月補正予算と一体的な予算として、ワクチン接種体制の確保など新型コロナ対策や、災害からの復興、公共施設の老朽化対策など市民の安全・安心を守るための事業にしっかりと予算を付け、併せて地域経済の活性化や賑わいを創出する事業も進めていけるものとした。
- ・地域経済の活性化や賑わいの創出は、深刻な影響を受けている市民生活や地域経済にとって不可欠であり、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、大いに進めていきたいと考えている。
- ・現在、県下で医療非常事態宣言が発出されている。市内では、比較的、新規感染者数は抑えられており、全県の医療ひっ迫度も改善しているようである。このまま感染状況が落ち着いて、県の警戒レベル引下げにつながるよう、各部局においては、所管する施設や事業において、いま一度気を引き締めて、感染防止策を徹底するようお願いしたい。常々申し上げているが、新型コロナウイルスを過度に恐れず、また侮らず、国・県の状況を見ながら、適切な対応をとってもらいたい。

## 1 協議事項

### （1）人事評価の賞与（勤勉手当）への反映について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料1参照）

#### ○質疑

〔市長〕評価は非常に大事であるので、この制度の導入により、かえって士気が下がることのないようにしてほしい。

#### ○今後の方向性

原案を了承

### （2）令和3年度組織・機構の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料2参照）

#### ○質疑

〔副市長〕来年度から、東京事務所は県の東京事務所の中に入る。体制としては、正規職員1人、現地採用の職員1人の2人体制で対応する予定である。

#### ○今後の方向性

原案を了承

### （3）行政手続等の押印・署名の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料3参照）

#### ○質疑

〔財政部長〕資料中で見直さないとされたものも、国や県の動向によっては今後見直す可能性もあるので、表記を修正していただきたい。

〔総務部長〕ご指摘の点は修正する。

○今後の方向性

原案を了承

（４）令和３年度に選定する指定管理施設について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料４参照）

○質疑

〔財政部長〕今年度の指定管理施設の赤字が５億円ほどとなっている。この状態は、４月以降も続くと思われる。各部局では赤字の縮減に取り組まれていると思うが、早急に来年度の運営方針を見直し、更なる赤字の縮減に努めていただきたい。

○今後の方向性

原案を了承

（５）「第二期長野地域スクラムビジョン」の策定について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明し、協議を行った。（資料５参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（６）スマートシティNAGANO基本方針及びスマートシティ宣言について

（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明し、協議を行った。（資料６参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（７）国民健康保険料の料率改定スケジュールの変更について（保健福祉部）

標記事項について、保健福祉部長から説明し、協議を行った。（資料７参照）

○質疑

〔財政部長〕新年度予算編成に当たっては、法定外繰入金を減額してもらったが、令和４年度の予算編成に向けては、これをなくしていただきたい。国保は今後、対象者が減少していく見込みなので、一般会計からの繰入れは一旦ゼロにして、基金を活用するようにしていただきたい。

〔保健福祉部長〕ご指摘の点は承った。それ以外にも、保険料収納率の向上や保健事業の充実に取り組んでいきたい。いずれ、県内で保険料統一となる見込みなので、その辺りも見据え法定外繰入ゼロを目指していきたいと考えている。

〔財政部長〕以前は、市単独で事業を行っていたので基金は必要だったが、現在は広域的に行っているの、そういった点も踏まえ基金を活用していただきたい。

〔副市長〕基金を適切に活用して、法定外繰入をなくす方向で進めてほしい。

○今後の方向性

原案を了承

## (8) 河川敷運動場の一部廃止について（文化スポーツ振興部）

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明し、協議を行った。（資料8参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

## (9) アルピコ交通（株）からの路線廃止協議の申し入れについて（都市整備部）

標記事項について、都市整備部長から説明し、協議を行った。（資料9参照）

○質疑

〔財政部長〕アルピコ交通に対しては、これまでも運行支援を行ってきている。もう少し運行期間を延長してもらえたらよいが、赤字路線に対し更なる支援を行う必要はあるのか。

〔都市整備部長〕事業者とすれば、経営状況が非常に厳しいので、4月から廃止したいとの話であった。しかし、これまでの支援などの経緯を踏まえ、9月まで運行してもらえよう協議してきたものである。

○今後の方向性

原案を了承

## 2 その他

### (1) 令和2年度の職員提案の表彰について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料10参照）

○質疑なし

### (2) 期日前投票所の新設及び当日投票所の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明を行った。（資料11参照）

○質疑なし

### (3) 長野保健医療大学との包括連携協定の締結について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明を行った。（資料12参照）

○質疑

〔市長〕本市は、企業や大学などと様々な協定を結んでいるが、うまく活用できていない例もあるようだ。協定の数が増えすぎて担当部局の負担にならないように、そして連携先と本市とが無理なく続けられ、お互いにメリットが享受できるように、適切に活用して欲しい。

〔企画政策部長〕適切な活用に向け、協定の内容を精査して検討していきたいので、各部局にも協力をお願いしたい。

〔保健所長〕保健所としては、大学との連携協定は有り難い面がある一方で、課題もあると考えている。毎年、多くの学生の実習を受け入れているが、後進の育成のためとはいえ、これ自体に労力を要する。さらに、県内他地域の学校からの学生受入れ要請もある中で、現場に過度な負担がかからないように、本市と大学が個別に連携協定を結ぶのではなく、広域的に結ぶということも必要になってくると思う。

大学との連携は、他の自治体も含めた広域で実施してもらえれば、協定に基づく個別事業やルーチンの実習に協力しやすくなるので、このような点にも留意して進めていただきたい。

〔企画政策部長〕ご意見を踏まえ、今後、検討していきたい。

#### (4) 戸隠観光施設事業経営戦略の策定について

#### (5) 鬼無里大岡観光施設事業経営戦略の策定について

#### (6) 産業団地事業経営戦略の策定について (商工観光部)

標記3事項について、商工観光部長から説明を行った。(資料13、14、15参照)

##### ○質疑

[市長] 施設の民営化や民間譲渡については、年数が経過すると施設の経年劣化が進み難しくなると思う。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による減収分を指定管理者に助成しなければならない状況でもあるので、もっと早く進めることはできないか。

[商工観光部長] 最長でも、ここまでにはという期限を記載してあるが、スピード感を持ってできるだけ早く進めていきたい。

[市長] 2、3年で何とか見通しを立ててもらいたい。

[商工観光部長] 民間譲渡だけでなく施設の用途を変えるなど、様々な可能性を探っていきたい。

[副市長] 戸隠スキー場への投資について、経営の観点から考えれば、例えば野沢温泉スキー場のコンドラのように、何か魅力的な要素を盛り込まないといけないのではないか。

[市長] 確かに、そういうものがあると利用客は増えると思う。維持修繕だけだと、時代の流れから取り残されてしまう。

[副市長] 民間に譲渡するにしても、ある程度の施設整備をしないと受けてもらえない。

[商工観光部長] どこかで思い切ったことをしなければならないと思う。

[市長] インバウンドも視野に入れているのかということも含め、株式会社戸隠と今後のことについて話し合ってみたらどうか。

[商工観光部長] 検討したい。

#### (7) 善光寺御開帳2022 「日本一の門前町大縁日」基本計画(案)について

(文化スポーツ振興部)

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明を行った。(資料16参照)

##### ○質疑なし

#### (8) 東京2020オリンピック聖火リレーの職員支援について(文化スポーツ振興部)

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明を行った。(資料17参照)

##### ○質疑

[副市長] 沿道の対応はどうするのか。

[文化スポーツ振興部長] 間隔を空ける、マスクを着用するといったことを、沿道に配置した職員から周知する予定である。

#### (9) 「公共施設における雨水流出抑制施設の設置ガイドライン」について

(建設部)

標記事項について、建設部長から説明を行った。(資料18参照)

##### ○質疑

[上下水道事業管理者] 表題が「公共施設」となっているが、資料では民間施設についても触れている。民間施設も対象になるということか。

[建設部長] 民間施設は、基本的に開発行為の中で流出抑制を図っていく。また、公益施設には一部福祉施設を含むので、民間の福祉施設が入ることを想定しているが、一般的には先ほど申し上げたとおり、開発行為の中でお願いしていく。また、一般住宅については、現在も建築物防災指導要綱において、雨水浸透ますの設置をお

願っている。

〔上下水道事業管理者〕「公共施設」とすると、対外的には少し分かりづらいと思う。タイトルの見直しも必要ではないか。

〔建設部長〕飽くまで「公共施設」ということで考えているので、タイトルはこのままにしたい。

〔上下水道事業管理者〕民間にも依頼していくということなので、趣旨がきちんと伝わるようお願いしたい。

〔市長公室長〕流出抑制施設の「決められた量以上」とは、具体的にどの程度なのか。

〔建設部長〕一般的に、宅地では降雨量の90パーセントが流失し、田や畑では60パーセントが流出すると言われている。その差30ポイント分を貯留や浸透により流出抑制していただくようお願いしていく。

〔市長〕貯留施設について、どの時点で貯留を始め、どの時点で放流するかという案内はどのように行うのか。マニュアルのようなものがないと、必要なときに役に立たないということも考えられる。

〔建設部長〕その点は、我々も課題として認識しているが、実際には各家庭に細かく操作をお願いするのは難しい。

〔市長〕各家庭のものは、やむを得ないとして、大型の貯留施設は多額の費用をかけて整備したにもかかわらず、いざというときに役に立たないのではいけないので、計画的な操作が必要ではないか。

〔建設部長〕今後、研究していく。

〔副市長〕農業用ため池についても、現在、同じような取組を研究中なので、一緒に考えてもらいたい。

〔建設部長〕農林部とともに研究していきたい。

#### 〔10〕丹波島橋周辺の渋滞対策について（都市整備部）

標記事項について、都市整備部長から説明を行った。（資料19参照）

##### ○質疑

〔総務部長〕自動車利用の抑制については、温室効果ガス抑制の観点から環境部も一緒になって取り組んだ方がよいと考える。

〔都市整備部長〕環境部とも相談したい。

#### 〔11〕長野市子ども議会の開催について（教育委員会）

標記事項について、教育次長（教育）から説明を行った。（資料20参照）

##### ○質疑なし

以上